

災害に強い 安全・安心に暮らせるまちづくりと
阿寒国立公園にある観光交流拠点の再生を目指し



弟子屈市街地を整備します



町では「安全安心に暮らせるまちづくりと観光交流拠点の再生」を目標とする、都市再生整備計画を策定しました。整備には、国のまちづくり交付金事業を活用します。計画区域は弟子屈市街地地区の32・1号で(3ページ上の図のとおり)、計画期間は平成21年度から平成25年度まで。施設整備などにかかる事業費は18億2千万円です。このうち「まちづくり交付金」の交付限度額は6億6千800万円、国費率は36.7%となります。なお今後は「まちづくり交付金」に変わり、社会資本整備総合交付金(仮称)の創設が予定されています。

まちづくりの課題と目標

本町は、直下型釧路北部地震や標津断層地帯地震などが想定されていますが、住民が安心して避難できる空間・施設や、災害対応の拠点となる施設の整備が進んでいないのが現状です。また、娯楽・慰安や憩いの場となる公園や広場についても、同様のことがいえます。

そこで、避難施設や災害対応拠点施設を整備することにより、地域防災に関する住民満足度の向上を図る(平成21年度15.6%→平成25年度25.0%)、公園や広場の整備により、娯楽・慰安に関する住民満足度の向上を図る(平成21年度11.3%→平成25年度20.0%)ことを目標としました。

また本町は、世界有数の透明度を誇る摩周湖、日本最大級のカルデラ湖である屈斜路湖や、これに源を発する原始河川の状態を保つ釧路川源流付近など、豊かな自然に恵まれた観光産業を基幹産業とする町で、観光交流によるまちづくりを進めています。しかし、近年の不振などにより通過型観光として衰退傾向にあり、国道や道道が集中する交通結節機能を有効に活用した、町民の皆さんと来訪者の交流を促進する観光交流拠点の整備が求められています。

都市再生整備計画の整備方針と主要な事業内容

●整備方針1

弟子屈中学校改築後の跡地や旧国立病院跡地などを、公園や広場として整備することにより、町民の皆さんや摩周温泉を訪れた方に、潤いのある空間を創出します。

また、弟子屈地域防災拠点として、災害時には地域住民の安心・安全に資する緊急避難地としての利用を想定し、防災関連施設などの整備を同時に行います。

弟子屈中学校の耐震改築事業(平成23年3月完成)に併せて、体育館と給食センターの耐震改築を行います。また、中学校校舎解体後の跡地を利用して、広場を整備することにより、弟子屈中学校周辺は、平時の学校利用のほか、イベントやスポーツ大会、町民の憩いの場として

●整備方針2

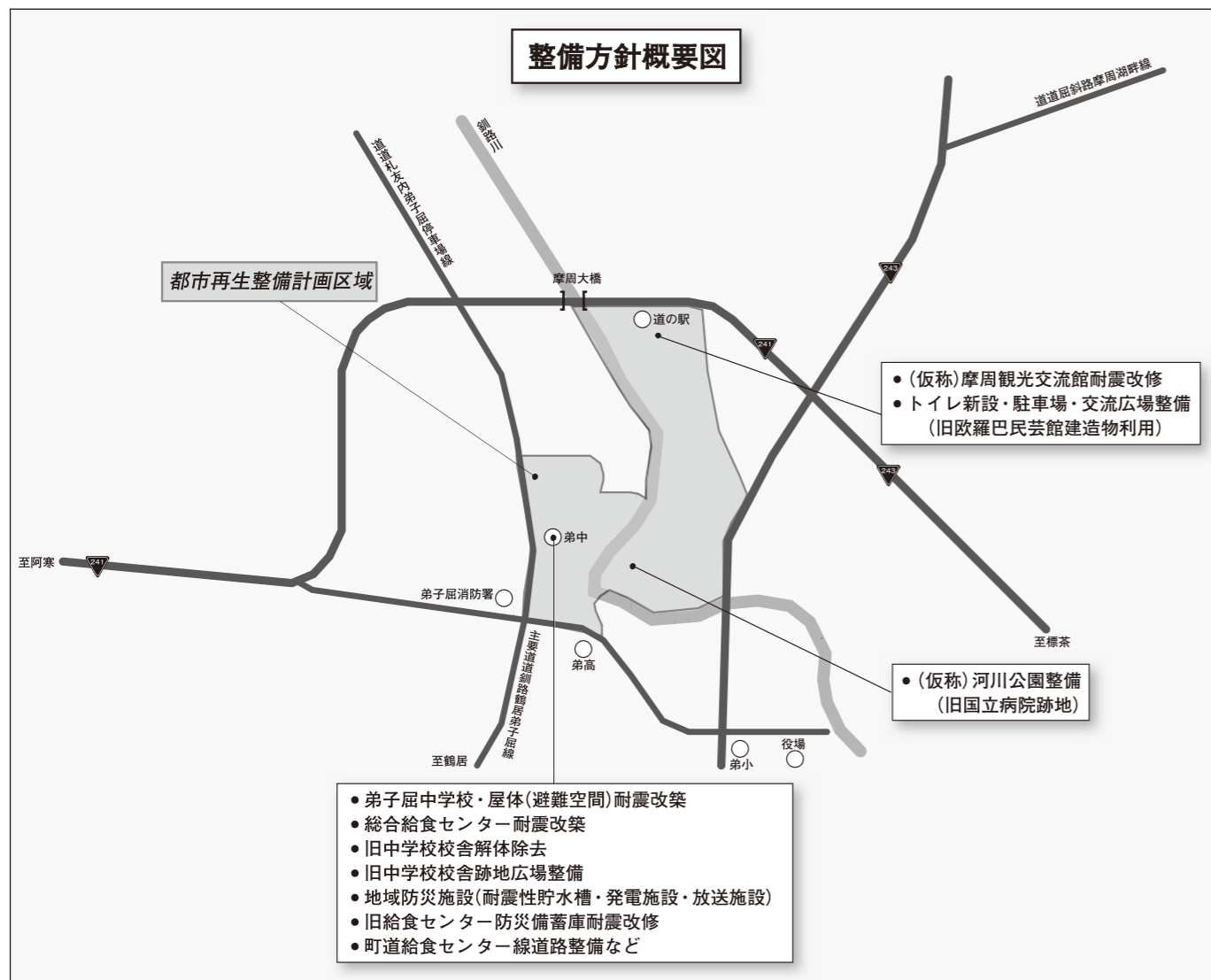
旧欧羅巴(ヨーロッパ)民芸館の建造物を内部改修し、広場や駐車場、トイレ、情報施設などを整備することにより、広域観光の情報発信基地としての役割を担います。

また、イベント開催設備などを充実させ、町民の皆さんと来訪者の方との交流拠点とします。災害時には、来訪者の方の一時的避難施設となります。

「まちづくり交付金事業」に関するアンケート

まちづくりについての参考とさせていただきますため、平成21年9月下旬から10月上旬までを回答の回収期間として、町民の方約600世帯を対象に、無作為抽出配布によるアンケート

ト調査を実施しました。431世帯から回答(回収率71.8%)があり、事業やまちづくりに対して192件のご意見をいただきました。アンケート結果



『生きがい講座』で楽しく学習しませんか?

町教育委員会では、町内にお住まいの60歳以上の方を対象に、心身の健康と生きがいを求め、明るい家庭・社会参加と豊かな地域づくりに役立つことを目的として、町民大学「生きがい講座」を開設しています。

学習内容は、野外活動・体力づくり・体験学習などを取り入れ、毎月1回、弟子屈学級・川湯学級でそれぞれ実施します。

月別の学習内容は次のように計画していますので、入学を希望される方はお申し込みください。

※日程は変更になることもあります。



室内小運動会の様子

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月													
17	16	25	17	14	13	10	2	18	12	15	7	17	16	10	5	23	15	未定	17	未定	未定	16	15	日	
弟子屈	川湯	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	弟子屈	川湯	学級
明日への生きがいを持とう! (閉講式)	健康な生活を送ろう! (健康体操)	健康な生活を送ろう! (健康体操)	新年の喜びを語り合おう! (新年交流会)	笑って健康になろう! (楽しい講話)	手作り年賀状を楽しもう! (年賀状作り)	体験を通して食文化を知ろう! (料理作りを楽しもう)	芸術文化を楽しもう! (文化活動)	近隣市町村を知ろう! (バス研修)	交流を通して親睦(ほく)を深めよう! (鶴居高齢者大学との交流)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	室内運動を楽しもう! (室内小運動会)	学ぶ意欲を持とう! (閉講式)

□申込期日 / 3月31日(水)

□申し込み・問い合わせ先 / 弟子屈町公民館 ☎ 4 8 2 - 2 3 4 0

弟子屈中学校の改築が今春 始まります

弟子屈中学校の改築事業については、コンペ(設計競技)で選ばれた「コンパクトソーラー・スクール」(施設を集約・自然光あふれる学校)をコンセプトとする作品をもとに、これまで、学校や改築に関する各検討委員会などと協議を重ねるとともに、弟子屈中学校の生徒に対するアンケートや町民の皆さんからパブリックコメントをいただくなど、さまざまなご意見やご要望をいただきながら検討を進め、設計してきました。



※完成イメージ

当初、平成23年の着工を目指し取り組んできましたが、国からの補助金が経済危機対策で通常より有利な内容となり、また補助金とは別に臨時的交付金も受けることができるようになったことから、計画を前倒しし、本年着工することになりました。

2月18日には、改築に関する工事費(約14億6,000万円)などの補正予算が第2回臨時町議会で議決されました。今後、入札などの事務処理を進め、4月から工事が始まる予定です。

工事期間中は、周辺にお住まいの方や生徒の皆さんにはご不便やご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、学校施設については平成23年度からの供用開始を目指し工事を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

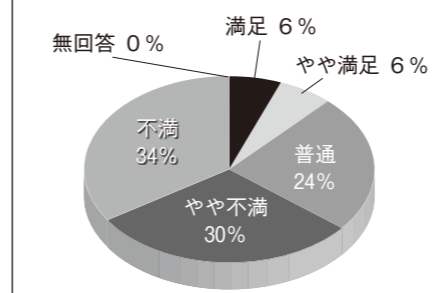
弟子屈中学校と合築となる給食センターは、平成23年度中に完成する予定となっています。学校周辺の整備については、平成22年度から計画的に進めていきます。

新しい弟子屈中学校

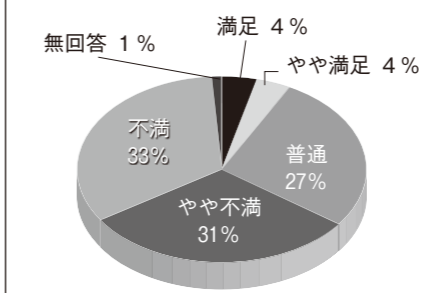
区分	構造	面積	補助メニュー
校舎	鉄筋コンクリート造 3階建	3,838.08㎡	文部科学省 安全・安心な学校づくり交付金
体育館	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 2階建	1,092.89㎡	国土交通省 まちづくり交付金
給食センター	鉄筋コンクリート造 平屋建	755.62㎡	国土交通省 まちづくり交付金
計		5,686.59㎡	
外構	玄関前庭、駐車場、グラウンドなど		国土交通省 まちづくり交付金

□問い合わせ先 / 町教育委員会管理課総務係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 5 (課直通)まで。

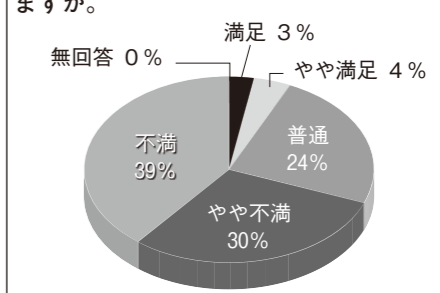
公園・広場などの個所・面積や整備水準は、現在のままで満足していますか。



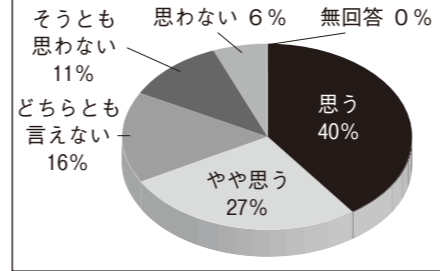
災害に対する施設整備について、現在のままで満足していますか。



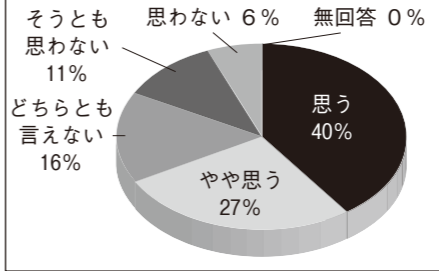
町民と来訪者が交流できる施設の整備状況について、現在のままで満足していますか。



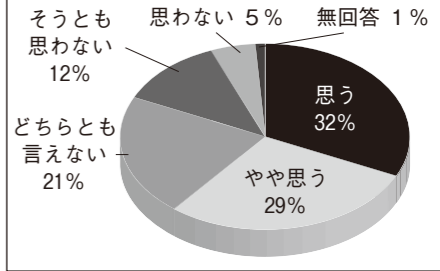
公園・広場などの憩いのスペースを整備することで、快適な生活環境が創出される効果があると思われますか。



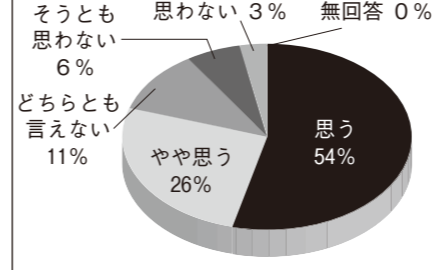
公園・広場などを整備することで、地域防災に関する住民満足度を高める効果があると思われますか。



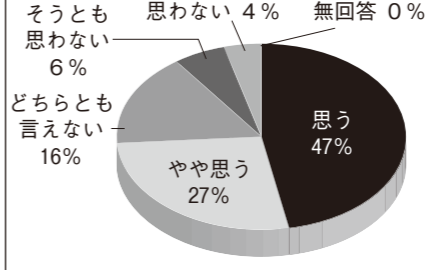
公園・広場などのスペースを整備することで、防災意識の向上や町民活動が盛んに行われるという効果があると思われますか。



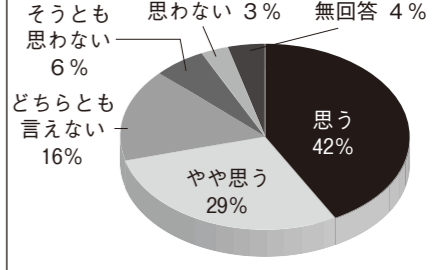
観光交流館を整備することで、来訪者にやさしい環境を増加させる効果があると思われますか。



観光交流館を整備することで、賑わいを創出し、交流を促進する効果があると思われますか。



本事業は、弟子屈市街地のまちづくりに必要な事業と思われますか。



果については、上のグラフのとおりです。
 ※アンケートの説明中、事業にかかる全費用のうち、78%程度については、国の交付金のほか、過疎対策事業債の元利償還金に対する地方交付税を見込んでいましたが、今後、財源措置については変更されることもあります。
 参考には、アンケートの結果を参考にさせていただきながら、まちづくりの目標達成に向けて、市街地の整備を進めていきます。
 ●事業やまちづくりに対するご意見(一部抜粋)
 ○公園の整備や道の駅付近の整備は必要と思います。特に道の駅は、摩周湖のある町としては、何にもなくて残念に思っています。観光地とは程遠い道の駅のように思いますが、もっと町民も利用できず。観光客にも「ワー、すごいね」と言って、寄ってもらえるような道の駅(観光交流館)にしてほしいです。(50代・女性)
 ○本事業を進めることは、大いに賛成であるが、新たな金銭的負担は出でなく補助残は町負担ではないのか。整備後の維持費の支出は全くないのか。直接負担は全くとも、

○公園は何か所かありますが、子どもを連れて行っても、遊具が不足しているように思います。公園も何か中途半端のような気がします。営林署跡地などは、公園としては場所的にピッタリだと思います。子どものいる人、老人たちも気軽にに行けるといいと思います。(60代・男性)
 ○川湯地区にも、町民や旅行者が利用できる公園やトイレなどの整備が必要です。(60代・男性)
 ○想定されている釧路北部地震について、町民の大部分は知らないと思う。混乱を招くからと知らせていないのか分からぬが、身近なものだけに知らせるべきで、そのことが本町の防災につながればと思っている。(50代・男性)
 □問い合わせ先 / 役場建設課 都市計画係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)まで。



市街地整備で活力ある町に

町民が負担する町税から支出されることには、(60代・男性)